



# さくら駐在所だより にのみや



令和6年10月号  
発行  
真岡警察署  
さくら駐在所  
TEL 74-0837

## 薄暮時・夜間の交通事故防止について

### 1 歩行者が実践すること

暗くなってから交通事故に遭わないために重要な点は、「目立つこと」です。あなたから車は見えていても、ドライバーはあなたに気付いていないかもしれません。「私はここにいるよ」と周囲に知らせる対策が大切です。

#### (1) 明るい色の服装

目立つにはまず服装から。黒や紺といった暗い色では、夜間の暗さでは全く目立たず、ドライバーがあなたに気付くづらく非常に危険です。白や黄色といった**明るい色の服装**を心掛けましょう。明るい色の服装は、ドライバーが気付くやすく、あなたを交通事故から守ります。

#### (2) 反射材の利用

反射材はわずかな光でも反射して目立つことから、必ず身に着けましょう。

- ・反射テープを靴に貼る
- ・反射リストバンドや反射タスキを着用する
- ・反射素材が使われている衣類を着用する
- ・バッグ等に反射ストラップを付ける

などの手軽な方法で、交通事故を防ぐことができます。また、**懐中電灯などの照明具**などを持ち歩けば、更に効果的です。「自分がドライバーからどう見えているか」を意識しましょう。

### 2 運転者が実践すること

#### (1) 前照灯の早め点灯

前照灯は、早めに点灯しましょう。前照灯を点けることで歩行者や自転車に車の接近を知らせる効果があります。

##### ○ ライト4（フォー）運動

これからの時期は、午後4時以降に歩行者が車にはねられて亡くなる事故が増加する傾向にあります。

そこで、10月から翌年2月までの間、「16時だよ！全員点灯」をキャッチフレーズに、**午後4時に前照灯を点灯**する取組みを展開中です。

午後4時になったら前照灯を点灯し、交通事故を防ぎましょう。

#### (2) 夜間走行時の原則ハイビーム

～ 命を照らせ ～

夜間は「原則ハイビーム」で走行し、歩行者や自転車を早めに発見しましょう。

##### ○ 照射距離

- ・ロービーム（すれ違い用前照灯） **約40m**
- ・ハイビーム（走行用前照灯） **約100m**

ハイビーム走行は、遠くから歩行者や自転車を発見できるとともに、逆に遠方から相手に自分の存在を知らせることもできます。ただし、前の車に続いて走っているときや対向車とすれ違うときは、ロービームに切り替えなければなりません。

